

富士河口湖高校同窓会だより

山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会事務局

河高北陵館通信

Vol.38

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 TEL 0555-73-2511 FAX 0555-73-2513 http://kawako-dosokai.net/

同窓会とは 心の繋がりに



同窓会会長
三浦 信 (五期生)

昨年7月の同窓会総会にて、第8代目の会長を仰せつかりました5期生の三浦信と申します。日頃より河高同窓会員の皆様、また学校関係者の皆様には本会活動へのご理解と、多大なるご支援ご協力を頂いておりまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、昨年は中国武漢を発生源とする新型コロナウイルスによって、地球規模とも言える未曾有の事態が生じ、国内外の社会情勢や経済情勢に大きな変化が起きています。私たちが同窓会活動のメイン事業となる定期総会も、昨年は中止せざるを得ない事態となりました。同窓会総会実行委員の22期生のメンバーの皆様には早くから準備をして頂いた中で中止せざるを得ないことは、本当に残念であつたかと思ひます。是非、収束したあかつきには同期生で集まって旧友との懇親を深めて頂きたいと思ひます。

ご挨拶



校長
小川 弘一

同窓生の皆様には、平素より本校の教育活動に対し、ご支援、ご協力、ご理解を賜り心より厚く御礼申し上げます。

今年7月に会長が天野續男様から三浦信様へ代わられ、新たな体制で同窓会がスタートされました。同窓生の方々は、様々なところで活躍されており、仕事で名刺交換をする際に、富士河口湖高校の同窓生と聞くと大変うれしく感じております。さて、本校の様子ですが、1年生から制服が新し

だ先が見えない中ではあります。一日も早くコロナウイルスが収束し、普通の生活に戻ることを願つてやみません。

今、こうして過去の歴史を振り返るとも言ひます。今の状況の中で大切なことは、一その時その場の変化に合せて柔軟に対応し行動して行かなければならない流行であること。反面、決して変えてはいけない不易「物事の本質を見失わないこと」。言い換えれば、目には見えない心の繋がりが大切だと思ひます。

最後に申し上げますが、私たちが同窓会役員が中心となって相互に親睦を深め、母校の発展と地域社会の発展に貢献して参ります。関係者の皆様には引き続きましての温かいご支援とご指導を賜りますこと、お願い申し上げます。

機を1台寄贈していただきました。天野前会長様にごの件で依頼した際には、快諾をいただき、その後の対応も大変早く、すぐに扇風機が届きました。天野前会長様から「他にも何かできることがあつたら遠慮なく申し出て下さい。」との温かい言葉も頂きました。

この間、同窓会様からは、列年同様、学校自動車維持管理に20万円、部活動等の県外派遣費に30万円の援助を頂いた。今年度はコロナ禍の中で、様々な場面で活用させていただいており、また、コロナウイルス感染症防止対策としてスタンド型扇風機を15台、大型扇風

近況報告

想像を創造に ボート競技で 日本一を達成

第40期 永井嵩士

我々が河高を卒業し、それぞれが新しい道へと歩き出した年、年号が平成から令和へと変わった。テクノロジーの進化はとて早く、在学中新機種だった携帯はベットの隅で埃をかぶり、映画やドラマで見ていた技術が今や電動ウィングス、スマートグラスなど、現実のものとなつてきており、人の想像が創造へと変わり、テクノロジーの無限の可能性を感じさせられる。

私は、河高在学中は勉強に励みつつもボート競技で日本一という夢をもとに、日々練習に励んでいた。しかし、高校生のうちにその夢を叶えることはできなかった。その時はなぜか日

「同窓会総会に 向けて」

第42回山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会総会実行委員長
大原弘士

この度、第42回山梨県立富士河口湖高等学校同窓会総会の実行委員長を拝命しました23期生の大原弘士と申します。高校在学時に生徒会長をしており、地元で自営業をしていての事を頂くく実行委員長のお話を承ることは、私にとって大変貴重な経験となりました。今でも高校時代の友人とは頻りに連絡を取り合っており、また紫が祭りのように皆で同窓会総会を作り上げていくことができるのがとても楽

に創造できる可能性も同様に無限大に広がっている。しかし、あくまで創造は可能である。その可能性を0パーセントにするために、様々なシチュエーションを何度も現実に近い形で想像していく必要がある。これからは、新しく創造していく今ととも、河高で過ごした3年間も含む、多くの想像してきた変わらない過去を大切にしていきたい。

「最高な青春を
送れるように」
第44代生徒会長 林 百花

私は、第44代生徒会長を務めさせていただいた林百花です。私は生徒の皆さんが最高な青春を送れる河高を創るために行事だけでなく、日常から大切にしていきたいと考えています。今年度はコロナウイルスの影響もあり、二か月ほど遅れて新学期がスタートしましたが、新学期がスタートしてからも思うような生徒会活動ができず、生徒会最大行事である紫が祭も小規模での開催となりました。

現在はコロナウイルス対策をしっかりと行つた上で昨年と同様に部活動の人たちと一緒にあひさつ運動を行えるようになり、朝から元気よくあひさつが交わされる様子を見て、やつと日常に戻りつつあるのだと嬉しく感じました。

先日行われた三体育祭では、二時間という限られた時間の中で生徒の皆さんの「楽しかった」の一言を聞くことができて安心しました。

私はこれから一年間、コロナウイルスに負けないよう楽しく充実した学校生活を送れるよう今自分達に何ができるか考えています。生徒会本部だけではなく生徒の皆さんを巻き込んで、よりよい河高を作っていくしたいと思います。



CHUO UNIVERSITY

今年の同窓会総会・懇親会は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、残念ながら中止と致します。